

第三期中期目標期間における業務実績見込の概要

※◆は重点的計画、◇は重点的計画でない項番。
※■は2023～2024年度の見込。

県立大学

教育

◆項番1 教養教育カリキュラムによる5学部連携教育の推進

- ・新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」を2021年度に設置、新設科目に重点を置いた評価を実施し、より教育効果の高い授業への改善を実施
- ・三菱みらい育成財団「21世紀型教養教育プログラム」に採択され、3年間の助成金を獲得（2021～2023年度）

■2021年度に設置した新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」について、2024年度には全学部連携型授業を4科目、複数学部連携型授業を4科目開講し、学部4年間を通じた教養教育カリキュラムを完成

【指標】（全学部連携型授業を1科目、複数学部連携型授業を4科目開講する。）

⇒2024年度までに全学部連携型授業4科目、複数学部連携型授業4科目を開講

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅳ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ（自己評価））

◇項番4 専門教育におけるカリキュラムの見直し

- ・3ポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）について、教育目標や理念、各学部のポリシーの整合性に留意し、新教養教育カリキュラムを含めた本学の特色や求める学生像を、高校生にもわかりやすい表現に修正

■外国語学部は多言語社会課程、日本文化学部は世界へ発信する新カリキュラム、教育福祉学部は愛知地域共生教育プログラム、看護学部はシミュレーション教育、情報科学部は企業連携型PBLや長期インターンシップ等の新カリキュラムの評価・改善を実施

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ（自己評価））

◇項番5 大学院教育におけるコース、カリキュラム等の検討、見直し

- ・大学院国際文化研究科において、医療、司法、教育、行政、福祉等の領域で、外国籍住民を言語面から支援するコミュニティ通訳者やコーディネーターを育成する「コミュニティ通訳学コース」を設置（2022年4月）
- ・大学院人間発達学研究科において、生涯発達研究所や自治体・教育委員会との連携を含めたカリキュラムの見直しを実施（4年間で修了生21名が大学・短期大学の専任教員に就職）
- ・大学院看護学研究科において、「公衆衛生看護実践コース」を設置（2021年4月）
- ・大学院情報科学研究科において、企業・団体等との連携体制を活用した長期インターンシップを継続して実施する体制の整備と教育効果の評価検証を実施

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ（自己評価））

研究

◆項番18 学部・研究科横断型の学際的研究や、産業界・地域社会等との連携による高度で挑戦的な研究を積極的に推進

■引き続き、学長特別研究費の「学部間連携・産学公連携研究」や「地域課題研究」を公募・採択し、学内の分野横断的共同研究、企業との連携、他大学や他研究機関との連携の他、公共機関との連携による地域課題解決につながる研究を推進予定

【指標】（学長特別教員研究費「複数学部にまたがる研究」または「共同研究（他学部・産学公）」を1件以上採択）

⇒学長特別研究費「学部間連携・産学公連携研究」を引き続き実施し、「複数学部にまたがる研究」または「共同研究（他学部・産学公）」を推進

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅳ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ（自己評価））

◆項番19 外部資金の獲得に向けた取組の推進

・大学全体の特色ある研究活動の推進・発信を強化するため、「研究推進局」を中心とした新たな研究推進体制を構築し、産学公連携や国際的な研究の推進や、外部資金による研究活動を基本とした運営を開始

■引き続き、研究推進局のもと、学際的な共同研究の推進と外部資金の獲得を目的として、研究所及びプロジェクトチームの研究成果等の一元的な発信を実施

■引き続き、科研費申請・採択のための支援として、学長特別研究費の「科研費採択奨励研究」を活用するとともに、外部委託による申請サポートを継続して実施

【指標】（研究に係る外部資金の採択・受入件数を、第三期中期計画最終年度までに、第二期最終年度から10%以上増加させる。）

⇒2022年度までに第二期最終年度より10.7%増加（195件から216件に増加）

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ（自己評価））

地域連携・貢献

◆項番22 県等との意見交換会を通して、地域課題への対応に向けた取組の推進

■引き続き、愛知県の関連部署との意見交換会を開催して課題を共有し、2022年度までに県と締結した協定に基づく地域貢献活動を実施、推進

■近隣市町村との連携事業や地域貢献活動について、ウィズコロナ時代における実施方法を検討する他、地域課題の共有と県内外の自治体との連携による課題解決の取組を継続

【指標】（愛知県の関連部署との意見交換会を1回以上、県との共催事業・貢献活動を1件以上）

⇒愛知県関連部署との意見交換会を引き続き実施するとともに、計画期間中に開始した、共催事業・貢献活動を継続して実施する体制を構築

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅳ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ（自己評価））

第三期中期目標期間における業務実績見込の概要

※◆は重点的計画、◇は重点的計画でない項番。
※■は2023～2024年度の見込。

芸術大学

教育

◆項番 30 世界水準の人材の育成に向けた魅力ある学部教育の推進

・アーティスト・イン・レジデンス及び外国人客員教員による特別講座等を毎年度継続的に実施、2022年度には遠隔での事業など新たな取り組みも実施

■アーティスト・イン・レジデンス及び外国人客員教員による特別講座等を引き続き実施するとともに、領域を超えた授業科目の連携（異分野のコラボレーション教育）や、他大学との連携授業等を推進

【指標】（アーティスト・イン・レジデンス及び外国人客員教員による事業を毎年4件以上実施）

⇒実施件数：2019年度8件、2020年度2件、2021年度6件、2022年度7件

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ（自己評価））

◆項番 36 キャリア支援の推進、卒業生・修了生の支援及び学生への経済的支援

・経済的困難を抱えた学生への授業料減免のほか、新型コロナウイルス感染症により経済的な影響を受けた学生に対し、学生緊急支援金の給付や食料支援を実施

■大学で学んだ専門性を活かせるように芸術系大学学生を対象とした企業説明会を実施

■卒業生・修了生の芸術活動を支援するため、卒業生・修了生の活動（展覧会や演奏会、受賞等）を大学Webサイトや公式SNS、学報等へ掲載し情報発信するほか、卒業生・修了生に対する学外からの連携依頼、協力依頼の周知や参加の呼びかけを継続実施

【指標】（キャリアサポートガイダンスを毎年25件以上実施）

⇒実施件数：2019年度27件、2020年度8件、2021年度28件、2022年度29件

自己評価：Ⅲ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ（自己評価））

研究

◆項番 39 教員の芸術活動・研究の推進とその成果の地域還元

・コロナ禍においては、VRでの展覧会やコンサート音源のCD制作等の新たな手法により芸術活動を継続

・文化財保存修復研究においては、高度な技術力を要する文化財の保存修復作業を毎年受託して実施したほか、研究成果を一般公開するための芸術講座を開催

■教員による展覧会・演奏会などの芸術活動をより一層充実させ、その成果を地域に還元

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅳ、2020:Ⅳ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ（自己評価））

◆項番 40 研究支援体制の整備、企業等との連携強化、外部資金の獲得増に向けた取組

・研究推進として、科研費・助成金に関する情報提供を行ったほか、申請にあたって外部委託の面談や申請書添削を導入し、採択に向けての支援と環境整備を実施

■引き続き、特色・魅力ある研究の推進に向け、企業、研究機関など外部機関との連携、共同研究を実施

【指標】（科学研究費及びその他の助成金を毎年20件以上申請）

⇒申請件数：2019年度28件、2020年度30件、2021年度23件、2022年度31件

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ（自己評価））

地域連携・貢献

◇項番 41 愛知県や他の自治体、他大学、産業界、文化施設等との多様な連携を推進

・国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」「あいち2022」をはじめとする愛知県の文化芸術振興施策や、「あいち・アールブリュット」など障害者芸術への取組に毎年協力的

■2023年度より、「あいち県民の日（あいちウィーク）」との連携事業として、県内の児童、生徒を対象に秋期オーケストラ定期演奏会へ招待

■2021年度より名古屋工業大学と連携し、2022年4月には包括的連携に関する協定書を締結した「アートフルキャンパス構想」について、2023年度も芸術体験ワークショップ、建築・デザイン作品展や成果発表の開催等により事業拡充

■2023年3月に日進市教育委員会と連携協定を締結、連携協定事業「音楽のまち日進しえんプロジェクト」を推進し、本学学生と日進市の児童、生徒による合同コンサート等を開催

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ（自己評価））

その他

◆項番 45 大学Webサイトなど情報発信ツールの充実、芸大のブランド・知名度向上

・ジブリパークの開園に合わせリニモ沿線に大型看板設置やリニモ沿線8施設紹介動画を制作

・地形劇場の観覧席整備のためクラウドファンディングを実施、目標金額を上回って達成

■2022年度に全面リニューアルした大学WebサイトやSNS等を活用したタイムリーかつ効果的な情報発信を継続して実施

【指標】（大学Webサイト・SNSのアクセス数を第三期最終年度に150万件以上とする）

⇒2020・2021年度において150万件以上を達成（大学Webサイト、Facebook、Twitterの合計）

自己評価：Ⅲ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ（自己評価））

第三期中期目標期間における業務実績見込の概要

法人運営

法人・大学運営

※◆は重点的計画。
※■は2023～2024年度の見込。

◆項番 46 法人・大学の運営体制の充実と効果的・効率的な法人・大学運営の推進

・コロナ禍において、コロナ対策本部会議を定期的で開催し、経済的に困窮する学生への支援策やワクチンの職域接種の実施等を早急に決定、実施

■理事長、学長等が財務状況の見通しや経営上の課題に共通の認識を持ち、法人・大学経営にリーダーシップが発揮できるよう、常勤役員連絡会議の開催を継続

【指標】(第三期最終年度までに理事長・学長によるトップマネジメント事業費を業務費総額の1%以上確保)

⇒2021年度予算、2022年度予算において業務費総額の1%以上確保を達成

自己評価：Ⅲ (2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅲ (自己評価))

◆項番 48 様々な連携による大学の魅力づくりの推進

・愛知県と連携しスタートアップ国際シンポジウム、A-A-A スタートアップシンポジウム等を開催
・2大学で連携し、ジブリパーク開園に合わせてリニモ沿線8施設紹介動画を制作、公開

■2022年度に実施したスタートアップシンポジウムなどの県等との連携した取組を引き続き実施

【指標】(2大学連携事業を検討・推進するための会議を毎年2回以上開催)

⇒開催数：2019年度3回、2020年度2回、2021年度2回、2022年度2回

自己評価：Ⅳ (2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ (自己評価))

人材の確保・育成

◆項番 52 大学を支える事務職員の育成

・他機関(愛知県、名古屋大学、文部科学省、公立大学協会)への職員派遣を推進

【指標】(第三期最終年度までに海外派遣及び他機関への派遣研修に従事した法人固有職員の割合を30%以上にする)

⇒2022年度末現在の割合：29.3%

自己評価：Ⅲ (2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅲ (自己評価))

その他

◆項番 59 良好で安全・安心な教育研究環境の維持と情報基盤ネットワークの強化

・2021年度に情報基盤ネットワークシステム(AIRIS)を更改しICT環境を整備

■法人所有施設の長寿命化改修対象施設のうち長久手キャンパス体育館を2024年度に改修

自己評価：Ⅲ (2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅲ (自己評価))

自己評価結果の概要

実施項目			
I 実施していない	II 十分には実施していない	III 十分に実施している	IV 上回って実施している
未着手	着手はしたが 目標に到達していない	目標を達成している	目標を上回って 実施している
0項目	0項目	51項目 (15項目)	11項目 (8項目)
0項目	0項目	66項目	19項目
0%	0%	77.6%	22.4%

※ ()内は重点的計画数

※2 重点的計画考慮後の合計

中期計画の大項目・中項目	項目数	I	II	III	IV
1 教育研究等の質の向上	45 (19)	0	0	35 (12)	10 (7)
(1) 県大	29 (9)	0	0	23 (5)	6 (4)
1-1 教育	17 (3)	0	0	14 (2)	3 (1)
1-2 研究	4 (2)	0	0	2 (0)	2 (2)
1-3 地域連携・貢献	4 (2)	0	0	3 (1)	1 (1)
1-4 その他	4 (2)	0	0	4 (2)	0
(2) 芸大	16 (10)	0	0	12 (7)	4 (3)
1-1 教育	9 (5)	0	0	8 (4)	1 (1)
1-2 研究	2 (2)	0	0	0	2 (2)
1-3 地域連携・貢献	3 (2)	0	0	2 (2)	1
1-4 その他	2 (1)	0	0	2 (1)	0
2 業務運営の改善	9 (3)	0	0	8 (2)	1 (1)
3 財務内容の改善	2 (0)	0	0	2 (0)	0
4 自己点検・評価及び情報の提供	2 (0)	0	0	2 (0)	0
5 その他業務運営	4 (1)	0	0	4 (1)	0
合計	62 (23)	0	0	51 (15)	11 (8)
重点的計画考慮後の合計	85	0	0	66	19

※()内は重点的計画数